

レーザー学会産業賞「貢献賞」受賞

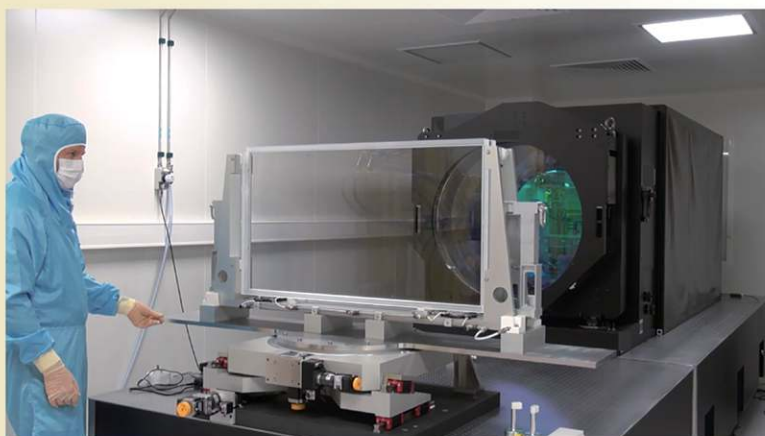


パルス圧縮用回折格子

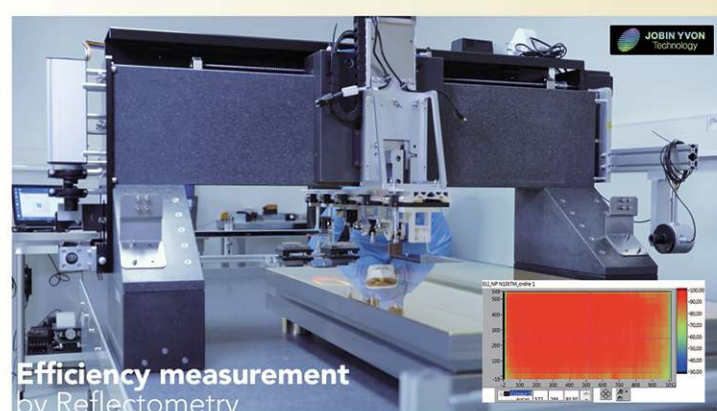
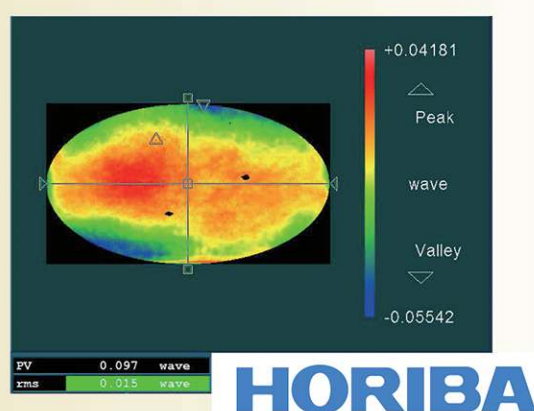
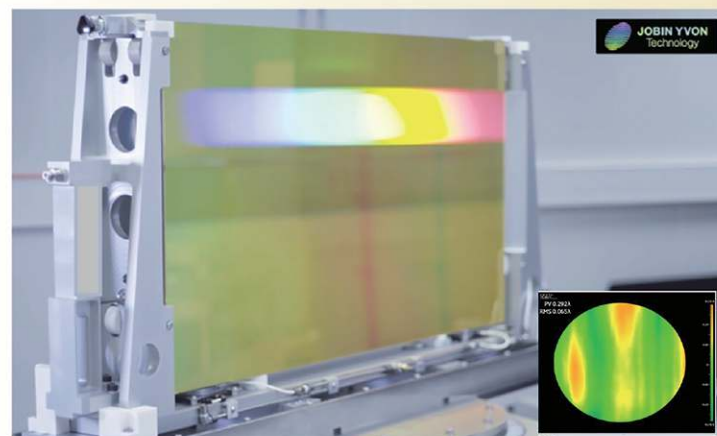
HORIBA

株式会社堀場製作所

2018年ノーベル物理学賞を受賞したCPA技術を支える回折格子であり
超短パルスレーザーの高強度化のキー・コンポーネントとして
長年、国内外の主要研究施設に高い性能と品質で提供し続けて来た事への貢献



High surface quality Fused Silica blank
575 × 1015mm



Efficiency measurement
by Reflectometry

製品の特長、用途

回折格子は分光用途だけでなく、レーザー・パルス圧縮用に広く用いられています。この用途では高回折効率、高波面精度そして高損傷閾値（高耐久性）が回折格子に要求されます。世界に先駆けたパイオニアとして、ホログラフィック露光技術を用いた製法により、これらの性能を実現しています。ホログラフィック露光技術を用いて作られたマスター回折格子は、使用レーザー波長において絶対効率として90%以上かつ回折格子面上で一様な回折効率を有しています。さらに、迷光が少なく優れた波面精度を実現し、このアプリケーションに最適な性能をもつ回折格子となっています。近年の高出力化・大口徑レーザーに対応したメートルクラスの回折格子も提供しております。

最先端研究からの要望に応える為、絶えず研究開発と製造技術の向上に努めております。
誘電体多層膜回折格子他、カスタム仕様にも対応しておりますので、お問い合わせ下さい。